

## 情報連絡員からの報告（要旨）

### 《製造業》

#### 食料品製造業

1. <福島県 漬物>  
国内原料が農家の高齢化で減少する一方。食糧自給率は元より、農産物加工業の将来が不安。
2. <茨城県 納豆>  
全体的に消費が低迷。また今秋の最低賃金20円以上の値上げも大変厳しい。価格転嫁も難しく、賃金を上げてても人手不足の解消には繋がりにくい。
3. <神奈川県 干物>  
贈答品の注文が年々減少していたが、今年は特に減少が目立つ。またニュース等で報道された「アニサキス中毒」の問合せも数件来ている。
4. <新潟県 蒟蒻>  
猛暑日が続く、心太・刺身蒟蒻等の涼味製品が好調。えご・胡麻豆腐等も販売増が見込まれるが、天草・えご草等の海藻類は原料高で売上が上がっても利益は低い。
5. <山梨県 酒類>  
7月の降雨量が少ないためにワイン原料である葡萄の成育に懸念が出ている。
6. <静岡県 水産食料品>  
消費動向が鈍化しており、資金繰り悪化と先行き不安から設備投資に踏み切れない。
7. <島根県 醤油>  
出荷量の減少傾向が止まらないことに加えて、新食品表示法やHACCP、新JAS法が施行されることから、事務負担の増大が予想されており、不安材料が多すぎる。
8. <徳島県 味噌>  
暑さで売上高・収益状況ともに悪化。また主原料の国産・輸入米価格が上昇しており、コストの高止まりは継続。他方、健康志向から甘酒の消費は好調である。
9. <高知県 食料品>  
商況は前年同月並みだが、宅急便の運賃が10月より値上げ。トラック便も値上げの動きがあり、一部商品や小口出荷品の値上がりにも懸念が出ている。
10. <大分県 菓子>  
月上旬の集中豪雨被害が大きく、地域によっては客足が途絶えて大打撃となった。また猛暑続きで全体的に売上が低迷した。
11. <鹿児島県 蒲鉾>  
お中元シーズンの繁忙期だが、売上は前年同月比-5%。ギフトの客数・単価の減少の他、不景気や購買層の高齢化等が影響しているようだ。また近年はギフト離れも激しい。

#### 繊維・同製品製造業

12. <山形県 織物製成人女子・少女服>  
原料高の影響や小口取引のために低調に推移。減産も続いて収益は悪化している。またネット通販の拡大で売上が減少している。
13. <群馬県 外衣・シャツ>  
ニットは秋冬物の受注が増加傾向だが、今年は例年に比べて発注が1~2ヵ月遅い。その影響で短期納品が求められているが、生産期間が短いために対応出来ずに売上高は減少。

#### 14. <新潟県 外衣>

得意先である大手アパレル百貨店が7月度は減収・減益となり、秋冬物の追加生産の動きも悪い。受注の確保に苦慮している。

#### 15. <岐阜県 紳士服>

消費者ニーズが多様化していることに加えて、夏物セールで店頭価格が下がっている

#### 16. <京都府 織物>

原料である中国産生糸の輸入価格が高止まりしており、利益率は低下。取引先との値段交渉次第ではあるが、原料高・製品安の状態が続けば生産意欲の減退に繋がる。

#### 17. <和歌山県 繊維・同製品>

受注増でも人手不足から生産計画や納品管理に苦慮。また最低賃金の大幅アップ方針が出たが、収入増加による経済効果よりも（経営基盤の脆弱な）中小には費用増加に伴う経営悪化リスクの方が大きい。

#### 18. <香川県 手袋>

冬物の受注は長引く販売不振の影響で流通在庫が多く残っており、製造は減少。メーカーも旧商品を主で出荷することもできず、新商品製造を行う必要もあり、在庫過剰が懸念される。

#### 19. <愛媛県 縫製>

人手不足が強まっており、生産維持・売上増が困難となっている。衣料品の売れ行きも悪いために売上が低迷。先が見通せない状況にある。

### 木材・木製品製造業

#### 20. <秋田県 木材・木製品>

製品の販売量は前年同月比では微増（109%）だが、販売価格は据え置きとなり、景気の回復感はない。また大雨で林道が壊れ、原木の伐採・搬出が出来ない。搬出が遅れると虫食いが発生し、製品の歩留まり悪化の要因となっている。

#### 21. <長野県 製材>

お盆前は建具の修繕や障子の張り替え需要が多いが、近年の廃業動向から一部に仕事が集中する。納期が重なると注文を断らざるを得ない状況もあり、仕事はあるのに回せていない。

#### 22. <岐阜県 東濃桧>

全体的に仕事量が微減で利益率が低下しており、低価格商品が主流のために景況が悪化。

#### 23. <三重県 木材>

EUとのEPA交渉の大枠合意で林産物は構造用集成材等の即時関税撤廃は回避されたが、一定期間後に撤廃されることになった。今後、国内業界に与える影響を注視する必要がある。

#### 24. <石川県 製材・木製品>

需要は増加傾向だが、資材価格が変化し始めている。外材は勿論、合板・国産材までの資材が4~5%程度値上げの動き。しかし価格転嫁には時間が掛かるために収益が悪化しそうだ。

#### 25. <山口県 製材・木製品>

大型公共工事の着工で操業度は上がったが、工事費の支払いは年末以降となる可能性が高く、資金繰りに窮する組合員が出そうだ。

### 紙・紙加工品製造業

#### 26. <三重県 紙器段ボール>

猛暑で冷菓や飲料関係の需要が増加。しかし作業内容が細くなり、操業効率は悪化した。

#### 27. <福井県 和紙工業>

毎年この時期は閑散期ではあるが、その低調さが感じられないほどに年明けからの不況感が強い。人員・生産規模ともに落ち込んだままだ。

## 28. <兵庫県 紙器段ボール>

昨今、物流分野における人材不足やコスト増加が顕著化しているが、紙器ダンボール製品の配送においても手荷役が多く、労働条件が厳しいためにドライバー不足が一層深刻である。

## 29. <島根県 紙製容器>

段ボール古紙原料の高騰や運送費用の上昇、また製造現場での労働環境改善から、8月から原紙価格の改定、さらに10月より段ボールシート価格を平均15%値上げする予定である。

## 30. <愛媛県 紙製品>

「夏枯れ」という言葉通り、需要が減少。また小口化・短納期化してコストが上昇。廃業する企業も出てきている。

## 印刷

### 31. <石川県 印刷>

北陸新幹線の開業効果も当業界は既に沈静化した模様。印刷需要の減少が今現れていると強く感じる。個人消費の低迷が長期化して行くと確実に印刷の受注悪化に繋がる。特にパッケージや包装紙等、在庫扱いの品目に影響が大きい。

### 32. <滋賀県 印刷>

夏休み・盆休み前で納期の重なる受注は多いが、近年は仕事量が減少しており、売上も低迷。

### 33. <大阪府 印刷>

顧客の動きが止まった感がある。運送費の値上げで小口の商談が厳しい。8月のお盆を控えて、多忙化しそうだが見通しは不明。全体的な景況観は悪化している。

### 34. <岡山県 出版・印刷>

全体的に売上高は厳しい状況。受注価格も低迷して価格競争が一段と厳しく、収益は悪化。

### 35. <徳島県 印刷>

お盆需要を控えて、様々なイベントが開催されているが大きな需要には結びついていない。新規の需要掘り起こしが必要である。

## 化学ゴム

### 36. <京都府 プラスチック製品>

プラスチック成型用金型は3ヶ月先までの受注を抱えて高操業となっており、製品も海外輸出向けの電子・車載部品は好調。国内向けの家電・通信用部品は横這いだが、ヒット商品以外は落ち込んだままである。

### 37. <和歌山県 化学工業>

全般的には一進一退の景況。原油価格が上昇する中、トランプ政権の不安定化や北朝鮮の大陸間弾道ミサイル発射で多少円高に振れているが、円安傾向で原材料費も高騰。国内景気も地域間格差が大きく、回復実感に乏しい。

### 38. <岡山県 ゴム>

原料価格の上昇はピークを過ぎた模様だが、引き続き改善には遠い。操業度は上がっているが、雇用人員の確保は厳しいままだ。

### 39. <広島県 工業用ゴム>

人手不足から設備の汎用化、共通化、省人化、自動化への投資が増加。他方、従業員の多能工化も進めていかなければならない。

## 窯業・土石製品製造業

### 40. <茨城県 焼き物>

暑さが厳しいことに加えて天候不順もあり、人通りが減少している。

#### 4 1. <神奈川県 砕石>

東京オリンピック関連等の大型プロジェクトによる骨材需要は期待どおりに波及していない。一般建設も工事量の地域差が拡大しており、全体の景況は総じて横這いである。

#### 4 2. <山梨県 骨材・石工品等>

生コンクリートの製品価格が低下傾向だが、材料の骨材価格は変動がなく収益悪化を懸念。売上は前年同月比で微増だが、出荷の多くは再生材であり、主力の砕石材料需要は減少した。

#### 4 3. <愛知県 陶器瓦>

年初より販売不振が続き、全ての月で前年同月比を割り込んでいる。さらに生産調整のためにお盆休みを長くする企業も出ている。

#### 4 4. <福岡県 砂・砂利・玉石採取>

軽油は取引の免税措置を講じられているが、来年3月で期限が切れる見込みで製造コスト上昇は避けられない。また価格転嫁することも難しいため、懸念がさらに大きくなっている。

#### 4 5. <佐賀県 陶磁器>

共販は前年比83.2%と2桁前年割れが継続。共販の撤退(廃業を含む)が影響しているのは間違いなく、不透明感は否めない。外需の喚起に期待。

#### 4 6. <熊本県 砕石>

売上高は前月比で減少したが、前年同月比は増加。今後も熊本地震の復旧・復興関連事業(官民)に左右されそうだ。

#### 4 7. <宮崎県 生コンクリート>

前年比で売上高が増加しているが、ほとんどが民需(畜産関係)で官公需関連は停滞。また新規採用の募集を行っても応募者が少ない。

### 鉄鋼・金属製造業

#### 4 8. <茨城県 鍍金>

5、6月時の落ち込みが資金繰りに影響してきた。また燃料費が値上がり傾向にあり、亜鉛、ニッケル、貴金属等の材料価格も上昇している。

#### 4 9. <千葉県 機械部品>

受注は増加傾向だが、価格競争の激化(上場企業、得意先)により、品質・価格・引渡の要求は高まる一方である。また廃業による加工先の不足も継続している。

#### 5 0. <東京都 金属熱処理>

引き続き、前年同月比で5~10%の売上増という組合員が多いが、今後は電気・ガス料金の値上げが懸念される。雇用情勢も相変わらず厳しい状況が続いている。

#### 5 1. <神奈川県 金属製品>

人材確保が非常に難しい状況が継続。受注増も続いているが、人材不足で外注頻度を上げざるを得ないために利益確保の厳しさも増している。

#### 5 2. <愛知県 特殊鋼>

製鉄用資材が急騰。耐火煉瓦原料が2倍、電炉で鉄スクラップを溶解に使用する黒鉛電極は3.5倍。中国の環境規制強化で原料供給が低下したことが要因。収益圧迫が加速している。

#### 5 3. <岐阜県 鋳物>

小型建設機械は好調だが、人手不足が継続しており、公共需要も依然として悪い。また中国が環境規制を強化した影響で主原料や副資材のフラン樹脂が高騰している。

#### 5 4. <大阪府 金属熱処理>

第一四半期は前年比で売上や受注量が増えており、休日出勤で対応するも処理が追いつかない。しかし、内製での処理限度を超えているために外注せざるを得ない状況も出ている。

55. <兵庫県 鉄鋼・金属>

海外の大口案件と高額製品の纏まった受注が入って売上増だが、盆休みで稼働日数が減少するために生産負荷も増加。また夏季賞与の支給に伴い人件費が上昇して収益は減少。

56. <徳島県 ステンレス>

売上高・収益状況ともに不変。国内大手の設備投資は堅調だが、中小の動きは低調のまま。また海外情勢の不安定状況も継続しており、先行き不透明である。

一般機器製造業

57. <北海道 金属工作機械>

復興関連工事の受注は相変わらず忙しいが、全体では低調な状況。

58. <岩手県 一般機械器具>

人手不足等で受注調整をしなければならず、利益損失の要因となっている。

59. <秋田県 金属加工>

受注動向は好調に推移。ただし原材料の鋼材価格は上昇傾向にあり、依然として単価、納期等の取引条件については厳しいケースが多い。

60. <栃木県 一般機械器具>

国内政治が不安定化し、経済動向も先行き不透明。現在は景況感が日々変化している。

61. <埼玉県 一般機械機器>

受注は増加しているが短納期要請が強く、平準化が出来ずに収益が上がらない。

62. <富山県 非金属用金型>

受注量は向上しているが、人材や外注先の確保が難しく、短期では解決が難しい課題があり、条件付きでの受注対応を余儀なくされている。

63. <石川県 機械、機械器具又は加工修理>

受注は増加しても人手不足から設備稼働率が低迷し、収益改善が鈍化。高齢者や女性、外国人の増員にも限界がある。省力化の設備投資を行いたいのが景気が不透明で踏み切れない。北朝鮮情勢や米国・トランプ大統領の手詰まり感等、懸念が増している。

64. <山口県 一般機械器具>

海外プラント関連の受注が止まった。自動車関連の受注は横這いだが、人手不足は継続。

65. <大分県 カメラ部品>

外国人労働者の受け入れが増加しているが、今度は通訳者が不足している。

電気機器製造業

66. <長野県 電子機械器具>

自動車関連部品のみ多忙に推移。他の分野では前年を大幅に下回っている企業もある。特にアルマイト加工は悪く、見通しが立たない。求人広告を出しても人材も集まらない状況。

67. <静岡県 電気機械器具>

猛暑の到来で冷蔵庫やエアコンの販売は前年比10%以上の増加で好調を維持している。

68. <広島県 電気機械器具>

売上は国内・輸出ともに売上が減少。経費負担は増加傾向。また取引先に価格交渉をしているが容易ではない。さらに残業規制も厳しくなれば、大いに経営を圧迫する。雇用、賃金、残業規制等、中小にとっては厳しいものばかりである。

69. <福岡県 電気機械器具>

ボーナス支給後、若年従業員の退社・転職が増加。福岡市等の大都市圏への流出が多い。

## 輸送用機器製造業

### 70. <神奈川県 船舶>

造船国内大手の受注量は前年度の4分の1以下に落ち込み、リーマンショック後の実績をも下回った。原油安で資源開発が停滞し、その煽りを受けて船舶需要まで落ち込んでいる。

### 71. <愛知県 輸送用機器>

設備能力を向上させるための設備投資割合が組合員の47%と約半数に達している。

### 72. <岐阜県 輸送用機器>

航空機需要は確実に拡大しているものの、平成29年度は主要機種の後続機開発に伴う減産がスタートし、4月から売上に影響が出始めた。またコストダウン要請も強くなり、固定航空機分野での収益が悪化している。

### 73. <高知県 船舶製造・修理>

受注残の消化業務により、高い操業度となっている。

## その他の製造業

### 74. <宮城県 再生資源>

鉄スクラップ価格が上昇しており、中国の環境規制で違法に近い鉄筋メーカーが一斉摘発されて操業停止や廃業に追い込まれたために棒鋼が不足し、アジア全体が鉄鋼不足となっている。

### 75. <石川県 プラスチック製品>

受注量は鈍化傾向。原油、ナフサ価格の高騰が続き、いずれは原料単価や物流費の値上げが予想される。また政治においても政権与党の支持率も急落しており、今後の景気停滞も避けられないと思われる。

## 《非製造業》

### 卸売業

#### 76. <北海道 菓子>

暑さが続いたために菓子の販売状況が悪く、前年割れで推移。販売価格も依然として安価であり、非常に厳しい月だった。

#### 77. <秋田県 青果>

売上高は前年同月比92.4%。県内外の記録的な大雨被害により、野菜の種類によっては入荷数に偏りが発生している。

#### 78. <福島県 各種商品>

飲料品は暑さで堅調に推移している一方、ビールや酒類は6月以降の値上げ以降に低迷。

#### 79. <茨城県 水産品>

売上高は前年同月比で約6%の減少。また7月上旬より暑い日が続いており、冷蔵倉庫等の電気使用量が大幅に増加した。

#### 80. <栃木県 化粧品>

運送業者による運賃の値上げ要請があり、対応に悩んでいる。

#### 81. <千葉県 総合卸（海苔）>

原料である生海苔収穫量の減少（海水温上昇）から産地価格が15%上昇。品不足は今後も続くと予想されるため、量的確保に懸念がある。

#### 82. <埼玉県 花卉>

梅雨が長引き、日中は高温で販売面は大きく低迷。市場価格も安値取引となり、売上は前年を下回った。

#### 83. <東京都 包装材料>

化成品はナフサの値上がりとエネルギー、梱包費、運賃等諸経費の高騰から値上げ動向が強まっている。また段ボールも原紙・古紙価格が上昇しており、値上げは避けられない見込み。

#### 84. <高知県 各種商品>

景気回復は感じられない。新卒・中途ともに採用難が継続。猛暑の影響で一部加工食品の消費が伸びている反面、野菜等は生産がダブついて苦戦している事業者も多いようだ。

#### 85. <福岡県 飲食品>

猛暑で氷が大量に必要となり、また魚類の痛みも激しい。何らかの対策が必要である。

### 小売業

#### 86. <北海道 各種商品>

全国的に大雨等で大変な被害が出ており、多業種に影響が出ている模様。

#### 87. <青森県 家電>

猛暑の影響でエアコン注文が殺到し、売上高は上昇。他方、テレビ等は依然として販売減。

#### 88. <宮城県 青果>

全国的な猛暑や大雨・洪水被害から夏物青果の価格は例年の2倍以上で推移。特に西瓜やメロン類の入荷量は激減。葉物類も猛暑で傷みが早く、品揃えにも苦慮。また暑さで消費者の購買力も減退している。

#### 89. <千葉県 青果>

空梅雨で客足が伸びたが、ボーナス支給等が低調で消費には繋がらない。販売価格も低迷。

#### 90. <三重県 石油>

販売量は例年にない猛暑日が続き、車内冷房等の影響で増加。収益は価格競争から改善せず。

- 9 1. <富山県 食肉>  
「アニサキス中毒」の風評被害で魚の売上が減少し、食肉の需要が増加。また8月からの米  
国産牛肉の関税引上げが、さらなる牛肉相場の高騰にもなりかねない。
- 9 2. <福井県 各種商品>  
7月に入り夏物商戦やバーゲンと需要を喚起する時期だが、ファッションは大型店も苦戦。  
ネット通販の影響を受けているようで店頭売上に結びつかない。また人手不足も一層深刻とな  
り、接客レベル低下等から売上也低下する等、悪循環になっている。
- 9 3. <長崎県 食肉>  
空梅雨が続き、気温が上昇したために来店時間が遅くなり、客単価も減少傾向。また時期的  
にも全国的に出荷頭数が減少することもあり、仕入価格が押し上げられ、収益面でも悪化する。
- 9 4. <大分県 土産品>  
月上旬の台風直後の福岡・大分における大雨被害後、買物客が著しく減少。そのまま厳しい  
状況がしばらく続き、前年を下回るペースで推移した。
- 9 5. <宮崎県 石油>  
従業員の確保が出来ず、求人にも応募がない。人手不足からスタッフのローテーションにも  
影響が出てきており、休業日を設けるSSが増えてきている。
- 9 6. <鹿児島県 農業機械>  
新卒や中途の採用意欲はあるのだが、ミスマッチも多く、研修や資格試験合格後に退社する  
場合があり、雇用確保の難しさを痛感している。
- 9 7. <沖縄県 各種商品（市場）>  
売上高・収益状況ともに悪化。再開発工事の影響で来場者の減少傾向が継続。当組合や近隣  
の商店等が多大な悪影響を被る再開発については問題がある。

## 商店街

- 9 8. <青森県 青森市>  
気温が30℃を超える日が多く、猛暑日を記録するなど暑い日が多く、夏物商戦としては好  
調。またイベントも天候に恵まれて多くの人出があり、まずまずの商況だった。
- 9 9. <新潟県 新発田市>  
大雨で商店街が冠水して通行困難となる一方、梅雨の晴れ間には一転して30℃超の酷暑に。  
エンドユーザーが外出を控えたために集客は減少。夏のボーナス支給後も節約・儉約志向が強  
く、消費は低迷している。
- 1 0 0. <富山県 富山市>  
月前半は比較的涼しかったが、後半は一気に猛暑となり、集客動向が定まらない。また「プ  
レミアムフライデー」も効果が少なく、現在は取りやめた店が大半を占めている。
- 1 0 1. <石川県 壱町>  
売上・収益ともに悪化。全国的にアパレルが悪く、バーゲン効果は全くない。梅雨・雨が長  
引いて在庫が捌けず、バーゲンセールも長期化。消費者マインドが悪化している。
- 1 0 2. <滋賀県 大津市>  
非常に暑い日が続く、商店街の集客が減少。また今年は梅雨が明けても湿気が多く、業種に  
よっては商品に影響が出ており、高齢者の集客も気温によって左右されている。
- 1 0 3. <香川県 丸亀市>  
7月は物販の「夏セール」だが、消費の低迷が継続。日銀の低金利策だけでは物価は上がら  
ない。現状は完全な需要不足であり、円安は大企業には良くても中小に利点は無いと思う。



#### 104. <愛媛県 新居浜市>

経営が困難となっていることから、営業時間の短縮（終業1時間）や販売スタッフの減、また冷蔵庫使用制限など出来る限りの経費削減策を講じている。ただし、冷蔵庫の使用台数が限られたことで精肉や鮮魚の取扱量が減少したために不満の声も聞かれた。

#### 105. <長崎県 佐世保市>

ボーナスの支給時期にも関わらず、前年よりも売上が低調。消費者の買い控えやネット通販の増加に加えて、市内企業等においては一部ボーナス不支給等との情報もあり、好調な景気とは考えられない。

### サービス

#### 106. <北海道 ソフトウェア>

システム開発の重要性が増加しており、投資も拡大しているが利益を上げるまでには至らず。しかし、投資をしないと競合他社に負けてしまうためにやむを得ない状況にある。

#### 107. <岩手県 飲食>

7月は週末になると猛暑や豪雨となり、イベントの中止等も増加して客足が伸びずに前年同期実績を大幅に下回ってしまった。

#### 108. <福島県 温泉旅館>

高温や雨天が続き、天候不順が影響して人出が伸びない。また夏休みでも子供連れが少ない。

#### 109. <兵庫県 屋外広告>

業況は低調で厳しい。夏場のイベント等で多少の好転を期待しているが、明るい兆しが無い。

#### 110. <山口県 自動車整備>

若い自動車整備士の確保が難しく、就職条件も「土日が休みで残業がない企業」とのことで業界離れが著しい。また採用しても2～3年で辞めてしまうので将来的にも深刻な整備士不足が到来しそうだ。

#### 111. <福岡県 宿泊業>

北部九州豪雨災害を受け、朝倉市(朝倉地区、杷木地区)及び東峰村が甚大な被害を受けた。また風評被害や外出控えに伴う予約キャンセルや集客の不調が発生している。

#### 112. <鹿児島県 旅行業>

夏旅行のシーズンだが、九州北部豪雨で福岡・大分方面の旅行がキャンセルとなっている。今後も風評被害が長引くことを懸念する。

#### 113. <沖縄県 ホテル旅館>

夏休みに入り、各ホテルとも順調。しかし、最大の課題は人手不足。繁忙期にも関わらず、やむなくレストラン営業の半日休止や特定休業日の設置等で対応している。また不法民泊の増加も懸念材料である。

### 建設業

#### 114. <秋田県 電気工事>

暑さの影響で一般住宅用エアコン取付工事の需要が増加。また県内一部地域の豪雨による河川の氾濫で床上浸水等の被害が出たことで電化製品の需要も上昇した。

#### 115. <群馬県 塗装工事>

売上高は増加傾向で一部では利益率が改善されているが、非法人組合員は現場に入れない状況になってしまったために法人手続きを行っているが、時間が掛かって仕事量の確保が困難。

#### 116. <山梨県 型枠大工>

工事量が増加傾向だが、単価は上がらない。人件費と材料費の高騰から収益増には繋がらない企業が多い。

#### 117. <新潟県 左官工事>

夏休みに伴う改修工事の増加で人員が不足。また工事受注の競争から単価も下落している。

#### 118. <愛知県 建設>

公共工事は若干の増加傾向だが、本格着工はお盆明けになる。また雇用人員は厳しい酷暑で減るばかりで操業度も低下している。

#### 119. <山口県 管工事>

繁忙期に加えて各種積算単価も値上げ改定がなされたので、前年よりも売上増だが、暑さを嫌って誘導員（ガードマン）がさらに不足。警備会社の値上げもあり、人件費が通常価格よりも2,000円～3,000円上昇した案件もある。

#### 120. <熊本県 塗装工事>

人手不足に加えて大雨被害への対応から日田や福岡の方面に労働力が流れ、不足感に拍車がかかっている。

### 運輸業

#### 121. <栃木県 貨物軽自動車>

夏季でエアコン等の家電関連は好転しているが、前年比で受注量は減少傾向にあり、景気回復の実感はない。また求人にも人が集まらず、運転手不足が継続している。

#### 122. <群馬県 自動車運送>

運転手不足が続き、人員確保に苦慮。また全国平均のガソリン販売価格は131.1円/ℓ、軽油は110円/ℓとなり、燃料価格が4ヵ月ぶりに値上がり。前月比でも高値となっている。

#### 123. <神奈川県 道路貨物>

仕事があっても人手不足で車両の稼働率が低調。少子高齢化の影響だけでなく、長時間労働等の労働環境改善も急務である。

#### 124. <奈良県 貨物運送>

燃料価格は横這いだが運転手不足で新規荷主からの要望には応えられず、増収は難しい。

#### 125. <兵庫県 道路貨物運送>

お盆休みを前に月末は多忙と予想していたが、当てが外れた。それでもお盆休み前後は運転手・トラック不足が懸念される。貨物量が増えても減っても悩みが消えない状況。

#### 126. <島根県 道路貨物>

引き続き、往路・復路便ともに低調。公共事業、道路工事等々の減少傾向が影響している。燃料価格も先行き不透明。また「車両制限令違反」の取締りが強化されていることから、多方面に影響が出ている。

#### 127. <広島県 道路貨物>

運転手の拘束時間や連続運転規制に伴い、長距離輸送の外注や撤退が進んでおり、鉄道・海上輸送に転換する事業者も出ている。他方、慣例である付帯作業の無料サービス有償化や運賃の値上げ交渉も始まっている。

#### 128. <香川県 貨物>

国が荷主側の責任で待機時間が生じた場合、7月から記録を残すことを義務付けたが、現場では手間だけが増えて荷主側の理解も得られないために増収も見込めない、との声強い。